

〈連載(148)〉

## イタリア～ギリシア間に 就航する新鋭カーフェリー乗船記



大阪府立大学大学院・海洋システム工学分野・教授

池田 良穂

9月にイタリアのアンコナからギリシアのイグメニツィアの間に就航する2隻の大型高速カーフェリーに乗船することができた。いずれもギリシアの会社の運航するフェリーで、航海速度26～28ノット級の新鋭高速カーフェリーである。

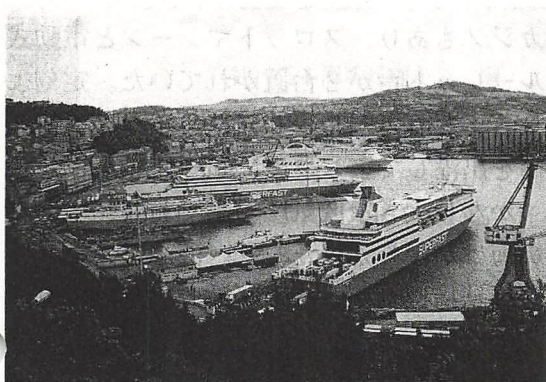
ギリシアのフェリー会社は、これまで日本等の中古フェリーを購入して大改装をして使用することが多かったが、最近の船はすべて新造の3万総トンを超える大型船になっている。しかも、こうした新造船を大量に建造し、ギリシア周辺だけでなく、北ヨーロッパ水域にまで進出しはじめている。欧州の経済統合に伴う規制緩和に乗って、比較的安い人件費を武器に一気にその勢力を拡大しようとしている。古くからギリシア海運は、市場の機を見て、投機的な動きをするのがその特徴とみられていたが、そうした気質がフェリー業界にもあるよう思われる。

さて、関西空港を出た飛行機は、フランクフルトを経由して、イタリアのポローニアの空港に到着した。空港からタクシー

で駅に向い、そこからインターシティーと呼ばれる特急列車に2時間乗って、アドリア海に面する港町アンコナに到着した。ホテルはフェリーターミナルの近くで、かつ窓から港が見える部屋を予約していた。ホテルに到着したのは夜の10時過ぎ。窓からはフェリーターミナルの一部が見え、中型のカーフェリーが荷役中であった。アドリア海を挟んだ対岸の旧ユーゴスラビアへ向う夜行フェリーのようだ。

翌朝、さっそくアンコナの港を見学した。港の一隅に、元日本のカーフェリーが係船されているのが見える。元関西汽船の「フェリーに志き丸」のようだ。窓がずいぶん増えているところを見ると、客室設備が大きくなっているようだ。船名は「ダエダルス」。また、74mウェイブピアサー型高速カーフェリー「クロアチア・ジェット」が荷役中。この船は、アドリア海を横断して旧ユーゴスラビアのクロアチアまで4時間で結び、毎日1往復している。アドリア海にもフェリーの超高速化の波が押し寄せはじめているらしい。

昼頃から、次々と大型の新鋭カーフェリーが入港して来た。いずれもギリシアとを結ぶ国際航路船である。ブルー・スター・フェリーの「ブルー・スター1」、ANEKラインズの「ヘレニック・スピリット」、スーパーファーストの「スーパーファーストⅥ」と「スーパーファーストⅢ」など、いずれも最近建造された新造大型船である。さらに、筆者が乗船予定のミノアン・ラインズの「パシファイ」も入って来た。これも3年前に建造されたばかりのピカピカの新鋭船である。こうした大型フェリーの大部分が、比較的狭い港内に船尾付けで船首を合わせるように着岸し、車も人も船尾のランプウェーからの乗下船する。



アンコナ港

18 時に「パシファイ」に船尾の旅客用ランプから乗船した。1998年にノルウェーで建造され、総トン数30018トン。4基で総出力44480kWのディーゼル機関を搭載し、航海速力26ノットである。旅客定員は1500名、乗用車換算で975台の車を搭載できる。エスカレーターを2つ乗り継いで旅客スペースに到着する。ロビーにはたくさんのギリシア人船員が待っていて、荷物を持って

キャビンまで案内してくれる。アウトサイドの2人部屋で、日本を出る前にインターネットを使って予約してあった。

船内には、大きなラウンジ、ディスコ、2層の展望ラウンジ、スポーツバー、プールなどがあり、船内設備はかなり充実している。レストランはテーブルサービスのあるアラカルト・レストランと、ブュフェ・レストランの2つがある。

この船は、ギリシアのイグメニツィアに翌日の昼過ぎに、そしてパトラスには夕方に到着する。以前は、船中2泊の船旅であったが、最近は高速化されて1泊で到着できるようになった。



パシファイ

日程が詰まっていたこともあって、イグメニツィアで下船して、帰りのカーフェリーを捕まえることとした。出港は23時。それまで港の周辺で待つこととした。帰りの船は、スーパーファースト社の「スーパーファースト6」。同社は、ギリシアの新興フェリー会社で、1995年に25ノットの高速タイプの「スーパーファースト1」「同2」の2隻を建造して、アンコナ～イグメニツィア～パトラス航路に新規進出して大成功を取

めた。その成功の理由は、船内2泊が船内1泊の航海に短縮されたからであり、2隻でデイリーサービスが可能となったことにある。

他のフェリー会社も、一斉に、それまでの中古フェリーを使ったサービスを止めて大型高速カーフェリーの新造に走ったのは、このスーパーファースト社の成功があったからと言える。

同社は、続いて27.5ノット級の「スーパーファーストⅢ」「同Ⅳ」をマーサ造船所で建造して、同じ航路に投入した。この時、船を遊ばせないように、パトラス(ギリシア)～バリ(イタリア)航路も一緒にして4隻の船を休みなくぐるぐると回して有効に運航する体制を作ったことは特筆に値しよう。高価な新鋭船を使って採算をとるためには、こうした徹底した運航上の工夫が必要なのである。

この4隻の成功に続いて、ギリシア国内航路への進出も試みたが、ギリシア政府の規制があって実現せず、それではと北ヨーロッパへの進出へと方針を変える。8隻の高速カーフェリーを発注し、イタリア～ギリシア航路の充実に2隻、ドイツ～フィンランド航路に2隻、ドイツ～スウェーデン航路に2隻、ベルギー～イギリス航路に2隻を投入する計画という。なんとも雄大な構想である。

**イ** グメニツィアの港では、元日本のカーフェリーにたくさん出会うことができた。「さっぽろ丸」、「六甲丸」、「しらはま」など、懐かしい船たちがギリシアで元気で活躍している姿を見てすっかり嬉しくなっ

てしまった。22時半に「スーパーファーストⅥ」が煌々とライトを点けて入港してきた。停泊時間は約1時間、タンクローリー、トレーラーなどの重量車両がどんどん搭載されていく。

「スーパーファーストⅥ」は、2001年にドイツで完成したばかりの新鋭船。32728総トン。ディーゼル46000kWで、航海速力28ノット。旅客定員1608名で、乗用車換算で712台の車が搭載できる。

船尾の旅客用ランプから乗船。エスカレーターで旅客スペースへ。「パシファイ」がどちらかというギリシア風の落ち着いたインテリアなのに対し、この船は超モダンな雰囲気をもっている。公室はレストランも含めてオープンスタイルで、曲線的な廊下がその公室スペースの中を貫いている。カジノもあり、スロットマシンと電動式ルーレット台が2台置かれていた。定刻より若干遅れて24時少し前に、イグメニツィアを出港してアンコナに向って北上。

かなり大きな低気圧が来ており、アドリア海はかなり荒れだした。波高が4～5mあり結構揺れたものの、波の割には揺れは小さくなかなかよい耐航性能をもっているように思った。



スーパーファーストⅥ

翌朝、ブリッジの見学を申し入れたが、海が荒れているために許可がでない。昼頃になってイタリアに近づくにつれて揺れも収まり、ようやく見学の許可がでた。オートトラッキング・システムなど最新鋭の航海機器が並ぶ。ブリッジですべてがコントロールされ、安全のためにすべてダブルシステムとし、万一、一方のシステムがダウンしても大丈夫とのこと。船員数は118名と、日本のカーフェリーに比べると驚くほど多い。

海が荒れたこともあってアンコナには1時間半遅れて入港。空港にタクシーを飛ばすが、予約していた飛行機はすでに飛び立っており、次の便まで4時間余り待つこととなった。ちょうど、その時に空港ラウンジのテレビが、ニューヨークの貿易センタービルおよびワシントンのペンタゴンへのテロを報じていた。旅客機が乗っ取られて、そのままビルに突入したらしいと伝えていた。なんとも悲惨な事件である。多くの犠牲者に対し哀悼の意を表したい。

新刊紹介

海事代理士受験の手引(改訂版)

(社)日本海事代理士会 編

近年の厳しい経済社会環境の下、国家資格取得を目指す人が増加している。その中で注目を集めているものの一つに「海事代理士」資格がある。

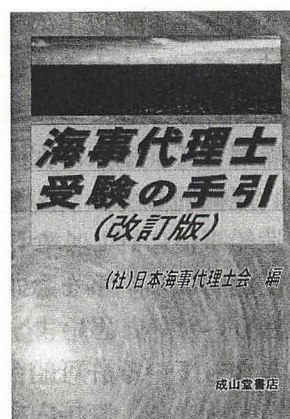
海事代理士とは、他人の委託により、船舶登記、登録申請、船舶検査申請、海技免状に関する各種申請等の代行業を営むための国家資格である。その唯一ともいえるテキストが本書であり、このたび最近の法改正を取り入れ改訂版としての発行となった。

昨年には海上運送法、港湾運送事業法において、規制緩和に伴う大幅な法改正が行われた。そしてさっそく昨年10月の海事代理士試験において、その改正部分が出題されている。本資格が時代に即応した知識・実力が問われることの現われであろう。本書ではそれらの改正の他、省庁改編に伴う新法「国土交通省設置法」を収録している。

本書は実務家である海事代理士によって

執筆され、資格の概要と各種手続、そして最新の法規に則った豊富な練習問題や科目別の出題傾向、勉強法と参考書の紹介等が収録されている。

これから勉強を始めようという人にも、試験直前の仕上げを行おうという人にも欠かせない一冊である。



A 5判・226頁・定価3,780円(5%税込)・送付費390円

発行：(株)成山堂書店

〒160-0012 東京都新宿区南元町4-51 成山堂ビル

TEL 03-3357-5861 FAX 03-3357-5867

<http://www.seizando.co.jp>

E-mail:publisher@seizando.co.jp